

校外学習

10月3日、4日に一年生の体験学習が行われました。一日目は県立青少年研修センターでオリエンテーリングと勾玉づくりを行いました。オリエンテーリングでは、グループごとに作戦を立て、ミッションのクリアを目指しました。また、勾玉づくりでは、それぞれが自分の好きな形をデザインし、石を削ったり磨いたりしながら個性豊かな勾玉を完成させました。

そして二日目。この日も県立博物館や市立美術館を訪れたり、プラネタリウムを鑑賞したり、黎明館で調べ学習を行ったりと、とても充実した一日となりました。一年二組の津村晃大さんは、「オリエンテーリングで班の人と協力しながらポストを見つけるのが楽しかった。仲間深まり、良い体験ができた。」と話していました。

視野を広げる

花山中交流会

8月23日、京都の花山中学校と伊敷中の交流会が行われました。最初は、それぞれの県の特徴を紹介しました。京都には有名なお寺がたくさんあり、国宝でも、近くにあれば休日に気軽に訪れたりできるそうです。鹿児島では、考えにくいですね。

また、生徒会活動の交流も行いました。花山中では、クラスごとの活動が充実しているようです。例えば、学期始めに「学級紹介動画」というものをつくるなど、学級の仲を深めながら楽しむというものもありました。



製作活動に取り組む1年生

また、伊敷中と同様に、花山中にも個々を大切にしようとする風潮があるようです。最後に、自由に質問し合いました。私たちに就いては普通の火山灰や給食の制度は、京都の人にとっては新鮮なようでした。違いを知って認め合うことは素敵です。様々な価値観を知り、多様性が認め合える学校を創り上げられたら良いです。(小畑 三佳子)



リモート会議で意見交流を行う伊敷中と花山中の生徒会役員

今月のShikou

第76代生徒会活動が終わりを迎え、第77代への引き継ぎを終えました。私たち第76代生徒会役員は、五つのShikouを合言葉に一年間活動してきました。この一年の成果として残せたものは「制服の更衣期間の見直し」です。5月に行われた生徒総会の議題として、皆さんからの数多くの意見をまとめ、生徒会で何度も検討、議論を交わしていくことで令和4年度10月3日〜12月23日までの期間を試行期間とし、出てきた改善点をもう一度見直すことで令和5年1月10日から完全実施を予定するという案まで運べるようになりました。これはすべからず、目標に向かう「志向」、新しいことを試す「試行」、みんながハッピーになれる「至幸」、高みを目指す「至高」、型にはまらず考える「思考」、スローガンとして掲げた全てのShikouによってなしたことです。制服の更衣期間見直し以外にも、この一年間Shikouしながら様々なことを実行してきました。生徒会役員を含め、たくさんの方が誰かのためにShikouを続けてきた第76代の生徒会活動を次の代へ良い形で引き継ぎ、今後もTeam伊敷としてみんながShikouしていける学校を目指していきますよ。(馬場口 彩音)

高を歩かすために リーダー研修会

8月26日、リーダー研修会が行われました。リーダー研修会とは、リーダーとしての素質を高め、これからの学校生活に生かすために必要な力を身につけることを目的としています。

今回は、「話し合いに必要な力を身に付ける」活動を中心に行いました。「話す力」、「聞く力」、「話し合う力」のそれぞれで大切なことを確認し、議論を行いました。議論では、「生徒会選挙の行い方」について話し合いました。現在の伊敷中では、会長が女子ならば副会長は男子、会長が男子ならば副会長は女子になることが決められています。今回、議論をスムーズに行うために思考ツールを活用しました。「今の状態で行うべき」という立場で「視点の違う意見が出る」「今のやり方で問題なく行っている」という考え方がある一方、「男女差別なのじゃないか」、「他の学校で変えているところがあるのでは」という意見も出てきました。

また、今回のリーダー研修会では、ペアで一人の意見に対し、もう一人が「でも〜」と続ける反論ゲームも行いました。このゲームはすぐ隣にいる友達や家族とも行えるゲームです。リーダー研修会に参加しなかった生徒も楽しく話し合いに必要な力を身に付けてみてください。(永田 瑠歩)



付箋を活用して話し合いを行う様子

各専門部から一年を振り返って

【本部】76代生徒会スローガンは「Shikou」明日を彩る700の色〜でした。みなさんはこの一年間「Shikou」することができましたか。生徒会本部も一年間「Shikou」に「Shikou」を重ねて活動してきました。「思考」「施行」「志向」「至高」。そして最終的には「至幸」を目指して過ごしていったほしいと思います。至らない面も多くありましたが、みなさんのおかげで無事に一年間を終えることができました。一年間、本当にありがとうございました。

【生活部】一年間、身なりや門礼といった大切な取組の呼びかけを行ったり、週目標達成率を100%にするための具体策を立てたりしてきました。一年間で良

い方向へと進んでいけたので、第77代になっても、伊敷中生全員が、生活部への取組に積極的になり、今後よりよい活動ができるよう協力をよろしく願います。

【庶務部】庶務班が年間徹底事項に掲げているかばん棚の整頓は、教室の環境を整えるということにも繋がります。「自分は気にしないからいいや」と考えるのではなく、周りの人のためにもかばん棚はきれいにしなければなりません。これからは自分のため、周りの人のために、かばん棚をきれいにすることを心がけてよりよい学習環境が作れるようにしていきます。

【美化部】グリーントイムや、掃き目、清掃などを通して、様々な協力ありがとうございました。世界一キレイな学校を目指して一年間取り組みを進めてきました。きれいな空間は、皆さんの学習効率を上げ、心まできれいにすることができそうです。引き続き努力を続けていきます。

【図書部】活動を温かい目で見守ってください。皆さんのサポートのおかげで活動を円滑に進めることができました。図書部長たちには、感謝の気持ちで一杯です。第76代から第77代になっても、図書部への協力をお願いします。

【体育部】体育大会が無事成功に終わって嬉しかったです。最初は全体練習でも不安でしたが、サポートしてくださった先生方や友達、体育副部長のおかげで自信をもって行動することができました。最後までかっこいい姿で引つ張ってくれた三年生のみんなにも感謝しています。今年の経験を生かして来年はもっといい体育大会にしてほしいです。

【保健部】コロナの影響で支障が出ることもありましたが、皆さんが感染症予防の徹底に努めてくださったおかげで多くの学校行事を例年に近い形式で行うことができました。76代から77代へ引き継がれますが、今後も保健部へのご協力よろしくお願いします。

【広報部】新聞コンクール、設置コンクール、文化祭、あすなる新聞：決して簡単なことばかりじゃありませんでした。しかし、広報部だったからこそ、忙しかったからこそ成長できたところがあると思います。実際、一年前の自分からいろいろな面で成長できたと思います。一年間共に歩んできた仲間や生徒会室から離れるのは名残惜しいし、寂しいけれど胸を張って次の代へとバトンタッチしたいです。

【学習部】一年間、多くの制約があった中、学習部にご協力くださり、本当にありがとうございます。たくさんさんの班と連携して、よりよい学習環境を作ることができました。77代以降も学習部にご協力いただけますと幸いです。